

写

教 調 第 449 号

平成 30 年 1 月 24 日

各市町村教育委員会教育長 様

岩手県教育委員会教育長

児童ポルノ関連事案を認知した場合の速やかな対応等について

今般、県立高校事務職員が児童ポルノの単純所持により罰金 30 万円の刑事処分を受ける事案が発生し、改めて当職より教職員に対するコンプライアンスの徹底をお願いしたところですが、一方で、近年、ソーシャルネットワークサービス等の不適切な利用等により、児童生徒が児童ポルノ犯罪の被害者となる恐れについても強く懸念されているところであり、平成 29 年 5 月 26 日付け教調第 129 号通知により適切な対応をお願いしたところであります。

発生防止に向けては、児童生徒に対する、ソーシャルネットワークサービス等の適切な利用についての継続的な指導をすることが大切ですが、万一、事案が発生し、画像等がインターネット等に流出した場合には、児童生徒本人の端末のデータのみを消去しても不十分な対応としかならず、一刻も早い児童生徒の保護、被害拡大の防止のためには、速やかな通報による警察の対応が不可欠であります。

つきましては、貴職におかれましては、改めて、上記教調第 129 号通知の趣旨を徹底するとともに、事案を認知した場合には、下記により適切に対応していただくようお願いいたします。

記

各学校において、児童生徒に係る児童ポルノ関連事案を認知した場合には、直ちに所轄警察署に通報するとともに、児童生徒の端末等の画像データの取扱いについても安易に消去等することなく、警察の指示に従うこと。

担当

岩手県教育委員会事務局

学校調整課 生徒指導担当 佐々木

TEL 019-629-6145

FAX 019-629-6144